

個別事業費	1,414 千円
交付金額	1,061 千円

地域の実情と課題

本町の女性就業率は全国や京都府より低く、20代～30代での正規雇用者の女性割合は多いが40代以降は非正規雇用者の割合が多くなっている。また、ひとり親家庭においても生活困窮家庭の割合は多いが、生活困窮家庭は自ら困難を訴えづらいことを鑑み、早期発見・早期支援に努め、社会的孤立に陥ることのないよう相談事業の充実を図り対策に取り組む必要がある。

事業の特徴

主な事業内容としては、
○定期的に女性等が互いに支えあう為の場所の提供
○日中のフリースペース開放
○女性のためのイベント開催

事業の効果

目標100名に対して参加者は延べ460名であった。
せいか祭りで本事業のPRブースを設置し、活動周知やNPO法人お客様がいらっしゃいました。による生理の実験などを行った。
開催時間によっては多くの人が集まり、居場所として浸透してきている。
性別による体特有の悩みなどを打ち明けられる場所となりつつある。

目的・目標

様々な課題・困難を抱える女性・母子に対し、行政だけでは手が届きにくい支援をNPO法人等の団体の知見や能力を活用しながら効果的に進めていく。また、問題を抱える女性の不安や悩みの解消を図り、必要に応じ関係機関等の相談窓口等につなげ、相談支援につながった女性がエンパワーメントされ、再スタートできるような居場所作りを行うことを目的とする。

連携団体

NPO法人 プラッツ(障害福祉サービス生活介護就労継続支援B型事業で、カフェ運営等を実施している)
NPO法人 お客様がいらっしゃいました。(大学生が中心となり設立した団体。生理に悩む方への支援や理解促進活動を実施している)

今後の課題

SNS等での情報発信の他、支援機関などで、対象となる方に事業の周知、案内を送付するなど、さらなる事業の周知が必要。
子育て世代や働く方も参加しやすい時間帯での実施が必要である。

精華町つながりサポート事業

内容

実施回数37回: 月3回程度実施。
参加人数: 460名

○居場所事業

1. 女性特有の体の悩みを語る場
生理痛や更年期などの悩みを語る場
2. ちょっと不安を語る場
自分で抱え込まずちょっとした不安を語り合える場所の提供
3. つなぐサポートの場
町内相談事業関係者による情報共有の場



居場所事業の様子



ハンドマッサージの様子

せいか祭り
での生理の
実験の様
子



居場所事業の会場



○抱き合わせで実施したイベント

- ・防災について考える
- ・障害のある子の性教育を考えよう
- ・ミニ生理教室
- ・助産師による相談
- ・子どもの性教育を考えよう など